私たちの県のまちづくり（小学4年・社会）

（　　）小学校（　）年（　）組　氏名（　　）

木製の宝船を揺らしながら、手渡しする住民ら＝20日、日置市吹上の船木神社

豊作祈り「エンヤオー」

日置市吹上で船こぎ祭り

日置市吹上の船木神社で20日、住民らが木造模型船を手渡していく「船こぎ祭り」があった。見物人も加わり、約70人が境内で輪になって「エンヤオー、エンヤオー」のかけ声とともに豊作や家内安全を祈った。

祭神の猿田彦命が海路で大和の国から吹上まで、大汝牟遅命の供をした神話があり、航海の安全を祈る祭りが転化したといわれる。宝殿には船の模型約60隻が納められており、最も古いものは天明6（1786）年と記されている。同日は23隻を使用した。

参加者は船を抱え上げて3度大きく揺らし、時計回りで隣の人に渡した。地元の上田尻自治会長、深川正治さん(71)は「高齢化や人口減が進む中、地域外の人に参加してもらい、一体となれてよかった。伝統ある行事をしっかり継承していきたい」と語った。刀踊りも奉納された。

2025年3月21日21面

【問1】船こぎ祭りは，いつどこであったのでしょう。

3月20日に日置市吹上の舟木神社であった

【問2】船こぎ祭りは，誰が何をしていく祭りなのでしょう。

住民らが木造模型船を手渡していく祭り

【問3】船こぎ祭りで何を祈るのでしょう。

豊作や家内安全

【問4】船こぎ祭りの由来について，（　　）をうめましょう。

祭神の（　猿田彦命　）が海路で大和の国から（　吹上　）まで，（　大汝牟遅命　）の供をした神話があり，（　航海の安全　）を祈る祭りが（　転化　）したといわれる。

【調べてみよう】身近な地域の伝統行事について調べてみよう。

むずかしい漢字とことば

吹上（ふき・あげ）　木造（もく・ぞう）　模型（も・けい）　手渡（て・わた）し　境内（けい・だい）＝神社や寺の敷地（しき・ち）の中。　豊作（ほう・さく）　祈（いの）った　供（とも）　航海（こう・かい）　宝殿（ほう・でん）　隻（せき）　納（おさ）め　抱（かか）え　揺（ゆ）らし　隣（となり）　高齢（こう・れい）　減（げん）　地域（ち・いき）　伝統（でん・とう）　継承（けい・しょう）　踊（おど）り　奉納（ほう・のう）＝神や仏にさしあげること。

©南日本新聞社　教育目的以外の無断転載　複製および頒布は禁止します　南日本新聞社